

まとめテスト①

中1／データの活用 まとめ／50点満点・制限時間 25分

なまえ _____

ひづけ _____

- ・全部で50点、制限時間は25分。配点は大問の見出しに書いてある。
- ・計算は別の紙に。答えは数だけ書く（単位・％は書かない）。小数は 0.7 のように書き、分数は使わない。
- ・階級は 10～15 なら 10以上15未満 と読む。大問5は文で書く。計算した 値を 書いて、理由を 説明する。

大問1 求める

各2点（10点）

- (1) 階級が 20以上35未満。
この 階級の 幅は？
- (2) 8個の 点数 4、7、8、9、11、12、13、15
中央値は？
- (3) 7個の データ 3、5、5、7、5、9、7
最頻値は？
- (4) 度数 2、2、3（7人）。相対度数を 四捨五入で
小数第2位まで 求め、
合計は？
- (5) 7人の データ 2、3、3、4、5、6、33
平均値以上の 人は 何人？

大問2 読む・考える

各3点（18点）

- (1) 1組は 30人中 12人、2組は 40人中 14人が
ねこを 飼っている。割合が 大きい 組の
相対度数は？
- (2) 紙コップを 500回 投げて 底が 上を向いたのは
380回。上向きの 確率は？
- (3) 20人の 点数。階級値 5、15、25、35、45点、
度数は 2、4、7、5、2人。平均値は？
- (4) 30以上40未満から 始まる 度数折れ線。
階級の 幅は 10。左はしの 度数0の 点の
横の 位置は？
- (5) ペットボトルの フタを 500回 投げた。
表 100回、裏 400回。
表の 相対度数は？
- (6) 4日間の 読書(ページ) 0、18、24、30
平均は？

大問3 度数分布表を使う

各4点（8点）

30人の 点数を 調べた。左の 表は その 度数分布表である。

点数（30人）

階級(点)	度数
0～10	2
10～20	6
20～30	10
30～40	8
40～50	4

- (1) 表から 平均値を 求めよ。
- (2) 30未満の 累積相対度数は？

大問4 データを変える・誤りを直す

各4点（8点）

- (1) Cさんは データ 11、3、13、5、8、12、4 の
記録の 順の 真ん中 5 を 中央値とした。
正しい 中央値は？
- (2) データ 2、4、4、6、9 の 9 を 19 に
直す。平均値は 何 ふえる？

大問5 説明

6点

Bさんは、A班（4、5、5、6、6、7冊）とB班（1、2、3、4、5、30冊）を比べて、
「平均値が 高い B班の方が よく 読んでいる」と 考えました。
この 考えが 正しくない 理由を、値を 使って 説明しなさい。



まとめテスト②

中1／データの活用 まとめ／50点満点・制限時間 25分

なまえ _____

ひづけ _____

- ・全部で50点、制限時間は25分。配点は大問の見出しに書いてある。
- ・計算は別の紙に。答えは数だけ書く（単位・％は書かない）。小数は 0.7 のように書き、分数は使わない。
- ・階級は 10～15 なら 10以上15未満 と読む。大問5は文で書く。問題文の 考えが 正しくない 理由を 書く。

大問1 求める・読む

各2点（10点）

- (1) 点数 40、50、57、60、60、63、70

60以上70未満は 何人？

- (3) 5日間の 最低気温(℃) -2、1、4、-5、3

範囲は？

- (5) 記録の 順の データ 14、3、11、6、10、2、12

中央値は？

- (2) 25人の クラスで ある 階級の 度数は 5人。

この 階級の 相対度数は？

- (4) 度数 4、7、8、5、3。3番目の

階級の 累積度数は？

大問2 読む・考える

各3点（18点）

- (1) たての 1目盛りが 5人。ある 棒の

高さは 3目盛り。度数は？

- (3) 階級は 0から 20ごと。度数は 5、9、4、2。

最頻値は？

- (5) 10回で 8回、1500回で 600回 表が 出た。

表が 出る 確率に 近い 値は？

- (2) 度数 3、5、8、4 (0から 10ごとの 階級)

20未満の 人は 何人？

- (4) 相対度数が 0.07 の とき

百分率では 何%？

- (6) A班 2、3、4、5、26点

B班 6、7、11、12、13点

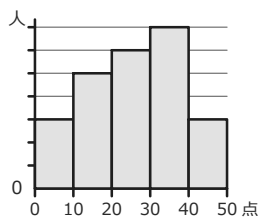
中央値が 高い 班の 中央値は？

大問3 ヒストグラムを使う

各4点（8点）

48人の 点数を 調べた。左の ヒストグラムは たての 1目盛りが 2人である。

点数 (48人)



- (1) 中央値が 入る 階級の
左はしは？

- (2) 20以上30未満の
相対度数は？

大問4 誤りを直す・データを変える

各4点（8点）

- (1) 階級は 0から 5冊ごと。度数は 7、6、4、2、1人。

中央値の 階級の 左はしは？

- (2) データ 1、3、5、7、9 に 13を

1個 加える。中央値は？

大問5 説明

6点

Dさんは、「キャップを 投げて 表が 出る 確率は 0.43 なので、
100回 投げると ちょうど 43回 表が 出る」と 考えました。
この 考えが 正しくない 理由を、確率の 意味を 使って 説明しなさい。



まとめテスト①【こたえ】

中1／データの活用 まとめ／50点満点・制限時間 25分

なまえ _____

ひづけ _____

問	正答	点	採点のめやす（×のときの誤答）	やるところ（記事の小単元）
1(1)	15	2	16 は ×（整数を 数えた）	① 度数分布表
1(2)	10	2	9 は ×（真ん中の 片方）	⑤ 代表値と範囲
1(3)	5	2	3 は ×（回数を 答えた）	⑤ 代表値と範囲
1(4)	1.01	2	1 は ×（合計を 1に した）	③ 相対度数
1(5)	1	2	4 は ×（半分と 考えた）	⑦ データの比較・判断
2(1)	0.4	3	0.35 は ×（度数が 多い 組の 値）	③ 相対度数
2(2)	0.76	3	0.5 は ×（2通りだから 1/2 と した）	⑧ 相対度数と確率
2(3)	25.5	3	4 は ×（度数を 平均に した）	⑥ 度数分布表からの代表値
2(4)	25	3	35 は ×（最初の 階級の 点で とめた）	② ヒストグラム・度数折れ線
2(5)	0.2	3	0.25 は ×（分母を 裏に した）	⑧ 相対度数と確率
2(6)	18	3	24 は ×（0を 個数から 外した）	⑤ 代表値と範囲
3(1)	27	4	25 は ×（階級値の 平均に した）	⑥ 度数分布表からの代表値
3(2)	0.6	4	1.8 は ×（その 階級の 度数で わった）	④ 累積度数・累積相対度数
4(1)	8	4	5 は ×（記録順の 真ん中）	⑤ 代表値と範囲
4(2)	2	4	10 は ×（ふえた 分を 答えた）	⑦ データの比較・判断
5	下の 解答例	6	下の 採点基準（2点×3）	⑦ データの比較・判断

点数（30人）

階級(点)	度数
0～10	2
10～20	6
20～30	10
30～40	8
40～50	4

大問5 採点基準（各2点）

- ①「平均値は B班7.5冊・A班5.5冊」と 値を 書く
- ②「B班は 30冊の 1人に 平均値が 引き上げられた」と 書く
- ③「中央値は A班5.5冊・B班3.5冊で A班が多い。A班の 方が よく 読んでいる」と 結論を 書く

解答例

平均値は B班が 7.5冊で A班の 5.5冊より 高いが、B班は 30冊の 1人に 引き上げられた 値。
中央値は A班が 5.5冊、B班が 3.5冊で、A班の 方が よく 読んでいる。

丸つけ 答えは 数だけで ○（単位や %があっても ○）。0 も 答え。大問5は 採点基準の ①～③ ごとに 2点。

考え方（途中の式）

- 1(1)(2) 20以上35未満の 幅は $35-20=15$ （整数を 数えて 16 は ×）。8個は 4番目 9 と 5番目 11 の 平均で 10
- 1(3)(4) 最頻値は いちばん 多い 値で 5（出た 回数 3 は ×）。相対度数は $2\div7\approx0.29$ 、 $2\div7\approx0.29$ 、 $3\div7\approx0.43$ で 合計 1.01（1に ならなくて よい）
- 1(5) 平均値 $=56\div7=8$ 。平均値以上は 33 の 1人だけ
- 2(1)(2) 相対度数は 1組 $12\div30=0.4$ 、2組 $14\div40=0.35$ で 大きい 組は 1組の 0.4。確率は $380\div500=0.76$
- 2(3)(4) 平均値 $=(5\times2+15\times4+25\times7+35\times5+45\times2)\div20=510\div20=25.5$ 。度数折れ線の 左はしは 最初の 階級の 点 35 の 1つ 左で $35-10=25$
- 2(5)(6) 相対度数 = 表の 度数÷投げた 回数 $=100\div500=0.2$ （ $100\div400=0.25$ は ×）。0 の 日も 数えて $72\div4=18$
- 3(1)(2) 階級値×度数 $=10+90+250+280+180=810$ 、 $810\div30=27$ 。30未満は $2+6+10=18$ 人で $18\div30=0.6$
- 4(1)(2) 小さい順に 3、4、5、8、11、12、13 の 4番目 8。9を 19に 直すと 合計が 10 ふえる ので 5人の 平均は $10\div5=2$ ふえる

声かけの 例 階級の 幅 →「整数を 数えて ない？」 相対度数 →「総数で わった？」 平均値 →「外れた 値に 引っぱられて ない？」 確率 →「回数は 多い？」

40点以上 仕上がり。×の 問があれば 右の「やるところ」を 1回 やってから 再挑戦。
30～39点 ×の 多い 小単元から、診断テストの 答え面の 表で 練習する 順番を 決める。
29点以下 診断テスト [A] に もどって、×の 小単元を 数える。

得点 / 50 点 ×の 問は 右の「やるところ」へ（番号は 診断テストの 表と 同じ）。40点以上なら 仕上がり。

まとめテスト②【こたえ】

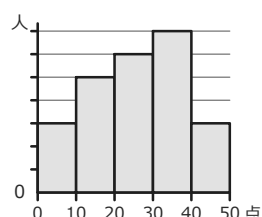
中1／データの活用 まとめ／50点満点・制限時間 25分

なまえ _____

ひづけ _____

問	正答	点	採点のめやす (×のときの誤答)	やるところ (記事の小単元)
1(1)	3	2	2 は × (70 を 入れた)	① 度数分布表
1(2)	0.2	2	5 は × (総数÷度数に した)	③ 相対度数
1(3)	9	2	4 は × (最大値に した)	⑤ 代表値と範囲
1(4)	19	2	8 は × (その 階級の 度数に した)	④ 累積度数・累積相対度数
1(5)	10	2	6 は × (記録順の 真ん中)	⑤ 代表値と範囲
2(1)	15	3	3 は × (目盛りの 数を 人数に した)	② ヒストグラム・度数折れ線
2(2)	8	3	16 は × (20～30 まで たした)	④ 累積度数・累積相対度数
2(3)	30	3	9 は × (度数を 答えた)	⑥ 度数分布表からの代表値
2(4)	7	3	0.07 は × (小数に % を つけた)	③ 相対度数
2(5)	0.4	3	0.8 は × (少ない 回数で 決めた)	⑧ 相対度数と確率
2(6)	11	3	4 は × (最大値が 大きい 班に した)	⑦ データの比較・判断
3(1)	20	4	30 は × (いちばん 高い 棒に した)	⑥ 度数分布表からの代表値
3(2)	0.25	4	0.125 は × (目盛りを 人数に した)	③ 相対度数
4(1)	5	4	10 は × (表の 真ん中の 階級に した)	⑥ 度数分布表からの代表値
4(2)	6	4	5 は × (加える前の 値に した)	⑤ 代表値と範囲
5	下の 解答例	6	下の 採点基準 (2点×3)	⑧ 相対度数と確率

点数 (48人)



大問5 採点基準 (各2点)

- ① 「確率 0.43 は 多数回の 実験の 相対度数に 近い およその 値」と書く
- ② 「100回 でも 結果は ばらつき、43回より 多い・少ない こともある」と書く
- ③ 「ちょうど 43回とは 限らない。およそ 43回と 考える」と結論を書く

解答例

確率 0.43 は、多数回 投げた ときの 相対度数に 近い およその 値。100回 投げても 結果は ばらつくので、ちょうど 43回に なるとは 限らず、およそ 43回と 考える。

丸つけ 答えは 数だけで ○ (単位や % が あっても ○)。0 も 答え。大問5は 採点基準の ①～③ ごとに 2点。

考え方 (途中の式)

- 1(1)(2) 60以上70未満は 60、60、63 の 3人 (70は 入れない)。相対度数 = $5 \div 25 = 0.2$ ($25 \div 5 = 5$ は ×)
- 1(3)(4) 範囲 = 最大値 - 最小値 = $4 - (-5) = 9$ 。3番目までの 累積度数 = $4 + 7 + 8 = 19$
- 1(5) 小さい順に 2、3、6、10、11、12、14 の 4番目 10 (記録の 順の 4番目 6 は ×)
- 2(1)(2) 1目盛り 5人の 3目盛り = 15人。20未満 = 0～10 と 10～20 の $3 + 5 = 8$ 人 (16 は 20～30 まで)
- 2(3)(4) 度数が 最大の 階級 20～40 の 階級値 = 30。 $0.07 \times 100 = 7\%$
- 2(5)(6) 回数の 多い 1500回の $600 \div 1500 = 0.4$ 。中央値は A班 4点、B班 11点で B班の 11 (最大値 26 の A班は ×)
- 3(1)(2) 累積度数 6、16、28、42、48。24・25番目は 20～30 で 左はし 20。20～30は 6目盛りで 12人、 $12 \div 48 = 0.25$
- 4(1)(2) 累積度数 7、13、17、19、20。10・11番目は 5～10冊 で 左はし 5。13を 加えて 6個。3番目 5 と 4番目 7 の 平均で 6
- 5 確率 0.43 は、回数を 1000回・10000回と ふやすと 表の 割合が 0.43 に 近づく という 意味。100回 では 43回より 多い・少ない こともある (たとえば 40回・47回)。だから 「およそ 43回」と言う

声かけの例 目盛り → 「1目盛りは 何人？」 境目 → 「その 値は 上の 階級？」 累積 → 「どの 行までの 合計？」 中央値 → 「並べ替えた？」

40点以上 仕上がり。×の 問が あれば 右の 「やるところ」を 1回 やってから 再挑戦。

30～39点 ×の 多い 小単元から、診断テストの 答え面の 表で 練習する 順番を 決める。

29点以下 診断テスト [A] に もどって、×の 小単元を 数える。

得点 / 50 点

×の 問は 右の 「やるところ」へ (番号は 診断テストの 表と 同じ)。40点以上なら 仕上がり。